

(別紙 5)

整理番号 2019P-018

補助事業名 2019年度自転車競技の普及促進及び競技力向上に資する事業補助事業

補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本体大会の開催により国内自転車競技の普及促進、認知拡大及び開催地域の活性化を図る。

また大会レベル（レースクラス2.1）及び規模（8日間8ステージ）の維持、運営体制の進歩やさらなる人気の向上を図ることにより、国内におけるスポーツ文化の発展、自転車活用推進法に基づいた国民の健全な心身の発達及び自転車市民権の確立（=自転車文化の創出）を目的とする。

(2) 実施内容

富士山ステージ開催、東京ステージ開催、ツアー・オブ・ジャパン広報

[\(http://www.toj.co.jp/2019/\)](http://www.toj.co.jp/2019/)

国内で唯一の都府県（大阪府堺～東京間）をまたぐステージレースである、国際自転車競技連合（UCI）公認の自転車ロードレース「2019ツアー・オブ・ジャパン」を開催した。本大会は国内唯一の8日間8ステージでの開催であり、コースについては全て公道を使用した設定で行った。また、今年の富士山ステージでは、街の中心地である、須走商店街をスタートし、2020年東京五輪の自転車ロードレースのフィニッシュ地点に設定された富士スピードウェイ外周路を周回し、あざみラインを登るコースレイアウトとなり、総走行距離の延長に成功した。さらに、今大会では、堺ステージで岡篤志選手（宇都宮ブリッツェン）、東京ステージで窪木一茂選手（チーム ブリヂストン サイクリング）がステージ優勝した。また総合優勝は国内チームのチーム右京が獲得した。

広報においては、スポーツ専門メディアであるSPORTSBULLでレースライブ配信を実施し、残距離、集団と集団等のタイム差表示を行い、番組としての質の向上が実現した。



最終日、東京ステージの集団スプリントを制し、勝利を挙げた窪木一茂選手（チーム ブリヂストン サイクリング）。



今年は、小池百合子東京都知事に東京ステージのスターターを務めていただき、東京都との連携を深めた。

2 予想される事業実施効果

国内唯一のUCIレースクラス2.1であり、国内最大期間・規模の8日間8ステージでの開催であることが国内外に認知され、名実ともに日本最大のステージレースといえる本大会を通して、一般観客や国内選手への自転車競技のさらなる魅力発信、競技力向上が見込まれる。

今大会では、堺ステージで岡篤志選手（宇都宮ブリッツェン）、東京ステージで窪木一茂選手（チーム ブリヂストン サイクリング）がステージ優勝し大会を盛り上げた。しかし、世界最高峰の「ツール・ド・フランス」や、来る2020年東京五輪における活躍が期待できる選手の育成のために、本大会は自転車ロードレースのハイシーズンであり、強豪選手がトップコンディションで走る5月に同じレースを経験し、自らの競技レベルを認知し、向上するために非常に重要な大会である。また、本大会で活躍することで多くのメディアから注目され、その結果、自転車ロードレースのみならず、自転車業界全体の発展、スポンサー獲得に寄与するものである。

富士山ステージにおいては、街の中心である須走商店街をスタート地点としたことで、より多くの方に自転車競技に触れていただく機会を創出できたと共に、翌年に控える東京五輪の自転車ロードレースのフィニッシュ地点である富士スピードウェイ周辺をコースに取り入れることで、開催に向けての応援機運が醸成された。

東京ステージでは、スターターとして、小池百合子東京都知事にお越しいただいたことで、都との連携を深めることができた他、自転車活用推進議員連盟、自転車活用推進本部自転車アンバサダー、警視庁自転車安全利用啓発隊「BEEMS」、一般サイクリストによるパレードランを実施したことで、「5月は自転車月間」、「自転車活用推進法」が観客に周知された。

広報においてはスポーツ専門メディアであるSPORTSBULLでレースライブ配信及びアーカイブ配信を実施することで、自転車競技ファン以外のスポーツ観戦ファンへもその魅力をPRする機会となり、新規ファン獲得に繋がった。

全ステージ公道を利用することで、自転車も車道を走る仲間というイメージを広く一般に再認識させる機会とし、自転車の健全利用を促し、事故減少に繋げ、自転車活用推進歩脳理念を実践し、自転車文化の創出及び自転車競技の発展を図ることが期待できる。

(別紙 5)

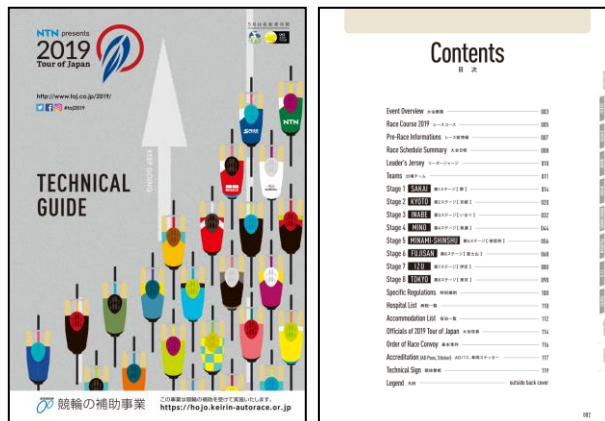
3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・ T0J報告書 (T0J-HP http://www.mavisports.com/toj/pdf/T0J_2019_Report.pdf)



・ T0Jテクニカルガイド



・ T0J 告知チラシ (A4)



・ T0J ポスター (B2)



チラシ (表面)、ポスター チラシ (裏面)

・ T0Jプログラム



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)

住所： 141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1

代表者： 会長 石黒 克巳(イシグロ カツミ)

担当部署： 事務局 (ジムキョク)

担当者名： 事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)

電話番号： 03-4334-7952

F A X： 03-4334-7957

E-mail： jifukyo@jifu.jp

U R L： <http://www.bpaj.or.jp>